



高欄の柱飾り

です。これは、かつて栄えた新河岸川の舟運にちなみ、風をいっぱいを受けて進んで行く舟の帆を表しているそうです。

下新河岸で、旭橋の高欄の柱飾りに目が留まりました。柱の上にある白みがかつた立方体の飾りは、上側は丸く膨らみ、四つの側面は内側に向かって、えぐられたようにくぼん



足元を照らす照明



博物館の常設展で展示されている舟の模型

足元を照らす照明は、歩道側に向け、緩やかにふくらんだデザインになっています。これは、風を受けて向かって来る舟の帆。きらきら輝く川面を背景に、かつての舟運の様子が目に浮かびます。

橋の近くには、河岸問屋の面影を今に伝える伊勢安があります。表には荷車の

車輪が飾られ、中庭では実際に使われた帆柱を見ることがができます。

つばさのロケ地になったこの地は、舟運の歴史を知る大切な場所にもなっています。



どんぐり

編集後記

11月14日(土)、昼まで降っていた雨が夕方にはやみ、通りには人が増えてきました。遠くの山並みの上、わずかな雲の切れ間には、ほのかに朱に染まった空。時計の針が5時を回ると、時の鐘が青色に照らし出されました。この日は、世界糖尿病デー。この病気への理解を深め、予防・治療に対する意識を高めるため、東京タワーや世界各地の史跡などでブルーライトアップが行われました
▶半年間放送された「つばさ」。総集編が年末に放送されます。その放送に先立ち、番外編を放送すると、NHKのホームページに掲載されていました。最終回から1年半後の設定で、つばさ以外の登場人物を中心に描かれるとか。撮影はすべて、川越でのロケだそうです。今から放送が楽しみです。



茶の木

茶の木は、冬でも落葉しない常緑樹の植物です。下赤坂の茶畑では、濃い緑色が一面に広がり、四角く刈り込まれた茶の木の畝が、丘の起伏に沿ってきれいな模様を作り出していました。のこぎりの刃のように、ぎざぎざした葉が密集する中、ところどころに咲く白い花。下向き

に咲く花の中心にある、黄色いおしべは、濃緑色の中でひととき目立ちます。10月から12月にかけてポツリポツリ咲いた花は、その後、実を付け、一年後には種が取れるそうです。八十八夜のころの、柔らかい新芽と違い、厚くなった硬い葉は、冬支度をしているように見えました。



おしげべり倶楽部

植物あらかると

248